

事業所名

放課後等デイサービスゆうひ

支援プログラム

作成日

7 年

2月

5 日

法人（事業所）理念		木育て～日々、積み重ね、日々、前へ～					
支援方針		・子ども達一人ひとりが持っている「できる力」を伸ばす。 ・子ども達と同じ目線に立ち、寄り添いながら成功と失敗を繰り返し一緒に「学ぶ」意識を持つ。					
営業時間		9時	0分から	16時	30分まで	送迎実施の有無	あり
		支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	・健康状態の把握 ・必要に応じた排泄自立目標に、トイレトレーニングの実施（家庭と連携） ・気持ちの発散の場となり学校や家庭で頑張る子ども達が安定した気持ちで過ごせるような時間の提供					
	運動・感覚	・奇数月に1度のスポーツインストラクターを招いた体幹トレーニングの実施 ・個別活動時にはスライムづくり、小豆等感覚刺激を目的とした療育の設定、季節行事としての創作活動時には手や足に絵の具を塗った「手形・足形」を作り興味、楽しさを感じながら五感を刺激する活動の提供					
	認知・行動	・個別療育ではスタッフとともに「今日、どんなことをする？」といくつかの選択肢を提示し、子ども達自ら取捨選択できる機会作りを通して自ら決めたことをやり遂げる達成感を感じられる機会作りから自信を高め、成功体験へと繋げる ・全体活動では周りかどのように動いているのか、周りを意識する「集団行動」に繋がっていけるような活動の実施					
	言語コミュニケーション	・ちょっとした変化に反応し、子ども達の頑張りを評価し「もっと、やってみたい」との気持ちを高め、自発的なコミュニケーションを促す ・非言語的コミュニケーションも見逃さず、子ども達の一人ひとりのコミュニケーション方法を通して他者との関わる機会を設定					
	人間関係社会性	・子ども達の主体性を高めていけるように関わる ・日頃の遊び～療育場面で楽しさを「共感」し合える環境づくり ・安心できる環境で自分の想いを表現し合い、のびのびと過ごせる居場所となるような関わりを行う					
家族支援		・2～3か月に1度の親の会開催 ・公式LINEやオンラインサービスを活用し活動内容の見える化				移行支援	・各関係機関との連携 ・地域住民との繋がり
地域支援・地域連携		・関係機関同士の連携				職員の質の向上	・年に2回の避難訓練 ・防災士を招いた防災訓練 ・虐待防止研修、衛生管理研修、事例検討会議、講演会参加
主な行事等		・季節行事（ハロウィンイベント・お餅つきなど） ・家族参加イベントの実施					